

レシオ型の蛍光変化を示す超分子メカノフォアの創製と水圏機能材料への応用



相良 剛光
東京工業大学・准教授

一分子レベルで微細な力を検出・可視化できる「超分子メカノフォア」と呼ばれる分子骨格を研究しています。本研究では、エキシマーを形成できる蛍光団が環状構造に二つ導入された超分子メカノフォアを開発します。得られたメカノフォアは、初期状態ではエキシマー発光を示しますが、機械的刺激が加わ

ると、モノマー発光が支配的になると考えられます。このようなメカノフォアを、水分子が豊富に存在する環境下において機能させることにより、機械的刺激に応じて蛍光色が鮮やかに変化する水圏機能材料を開拓します。

